

2004年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 2004年度 授業

《大学院》

教授	前平 泰志	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
教授	川崎 良孝	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		図書館情報学特論Ⅱ	前期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
		継続教育論	後期
助教授	佐藤 卓巳	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅱ	前期
講師	牧野 篤	生涯教育学特論Ⅱ	前期集中
講師	永田 治樹	図書館情報学特論Ⅰ	前期集中

《学部》

教授	前平 泰志	生涯学習概論Ⅱ	後期
		同和・人権教育論	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
教授	川崎 良孝	図書館・文献・情報	前期
		図書館情報学概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	教育研究入門Ⅰ（リレー講義）	前期
		生涯学習概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	佐藤 卓巳	メディア文化論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
講師	国生 寿	社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講師	山田 礼子	生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講師	井上 靖代	図書館情報学概論Ⅱ	後期

講 師	塩見 昇	図書館経営論	前期
		学校経営と学校図書館	後期
講 師	山本 昭和	図書館サービス論	前期
講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		図書館資料各論	後期
講 師	堀川 照代	学習指導と学校図書館	前期集中
講 師	佐藤 毅彦	情報サービス論	前期
		情報サービス論演習	後期
講 師	柴田 正美	情報検索演習	前期集中

2. 研究活動

《生涯教育学講座》

- ・「京都大学生涯教育学講座シニアキャンパス」

2004年3月26-28日（金-日）（京都大学百周年時計台記念館会議室Ⅲ・京都大学文学部新館第6講義室など）参加者33名

（株）ジェー・ティー・ビーから京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座への受託研究

*詳しくは、第1部参照

- ・合宿

2004年7月19-20日（月-火）（ア-ブしが）

京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座主催

《図書館情報学研究室》

- ・大学図書館研究会京都ワンディセミナー：「図書館員のプロフェッション」

2004年6月12日（土）（京都国際交流会館）参加者約30名

京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座、大学図書館問題研究会京都支部の共催

— 薬師院はるみ「専門職論争の遺したも：制度の中の司書と論の中の専門職」

（大阪樟蔭女子大学（非常勤講師））

— 川崎良孝「司書の継続教育についての国際的状况：IFLA、ALA、アメリカの図書館学校、韓国国立図書館の場合」（京都大学大学院教育学研究科）

- ・講演会：「図書館員の技量の絶え間ない発達を求めて」

2004年10月6日（水）（京都大学附属図書館3階AVホール）参加者約40名

京都大学附属図書館・日本図書館研究会・ドイツ文化センター・近畿地区国公立大学図書館協議会・京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座の共催

— クラウス・ライヒェルト（図書館情報学 ハンブルク応用科学専科大学）

「ドイツにおける図書館員の継続教育」

- 事例報告：吉田右子（筑波大学）
「アメリカ図書館協会の継続教育への取り組み」
- 事例報告：高嶽裕樹（大阪教育大学）
「アメリカの図書館学校の継続教育への取り組み」
- 事例報告：金智鉉（京都大学大学院教育学研究科博士課程）
「韓国国立中央図書館の司書研究課の取り組み」

・第2回国際図書館学フォーラム：「都市の発展と図書館サービス」

2004年10月12-15日（火-金）（上海図書館）参加者約200名

全体会：基調講演

川崎良孝「公立図書館の社会的役割：インクルージョンかイクスクルージョンか」

第1分科会：「図書館と生涯教育」

高島涼子「高齢者生涯教育における図書館の役割」

金 智鉉「視覚障害者への図書館サービス：韓国の場合」

前田 稔「公立図書館における児童の「保護」について」

高嶽裕樹「情報源としてのインターネットと図書館」

Nancy Lee、川崎良孝「図書館員の現職教育：国際的動向」

山口源治郎「公共図書館と生涯学習」

第4分科会：「図書館と都市の知識基盤」

薬師院はるみ「電子時代における図書館観の変容：ベーカー論争の再検討を通じて」

3. 院生研究業績

【博士後期課程】

金 智鉉（図書館情報学）

- ・共同著書『技量の継続的向上を求めて — 図書館員の研修に関する国際動向 —』（京都大学図書館情報学研究科）
- ・調査報告「韓国国立中央図書館の司書研修課の取り組み」（京都大学付属図書館、2004年10月）
- ・口頭発表「視覚障害者への図書館サービス：韓国の場合」（日本図書館研究会・上海市図書館学会 第3回国際図書館学セミナー、2004年10月）

吉田 正純（生涯教育学）

- ・論文①「実践報告の中の『接触経験』 — 教室外での教師と『在日朝鮮人』のかかわり」（『1970年代以降の在日韓国・朝鮮人教育研究と実践の体系的研究』研究報告書（研究代表者中島智子）、2004年3月）
- ・論文②「『精神の明晰』～『世界文化』集団の抵抗と学習：中井正一たちと〈抵抗の学習〉をめぐる諸問題(2)」（『京大大学生涯教育学・図書館情報学研究』第3号、2004年3月）
- ・口頭発表「社会運動研究における「文化的転回」以後の学習論の諸相（日本社会教育学会、

2004年9月)

生津 知子 (生涯教育学)

- ・口頭発表「高齢期における自主的な学習活動と参加者の学習イメージ — イギリス U3A (The University of the Third Age) 活動を手がかりに —」(日本社会教育学会、2004年9月)
- ・翻訳「アドヴォカシーとは何か：全国成人生涯継続教育協会の経験から」(『京大大学生涯教育学・図書館情報学研究』第3号、2004年3月)

倉知 典弘 (生涯教育学)

- ・口頭発表「教育刷新委員会第7特別委員会における『労働者に対する社会教育』の検討」(日本社会教育学会、2004年9月)

猿山 隆子 (生涯教育学)

- ・口頭発表「大日本青少年団における生活記録報道運動の方法論的考察 — 「指導者」の意図と「投稿者」にとっての意味に注目して —」(日本社会教育学会、2004年9月)